

平成19年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

平成20年7月  
独立行政法人水資源機構

1. 随意契約見直し計画と平成19年度に締結した契約の状況

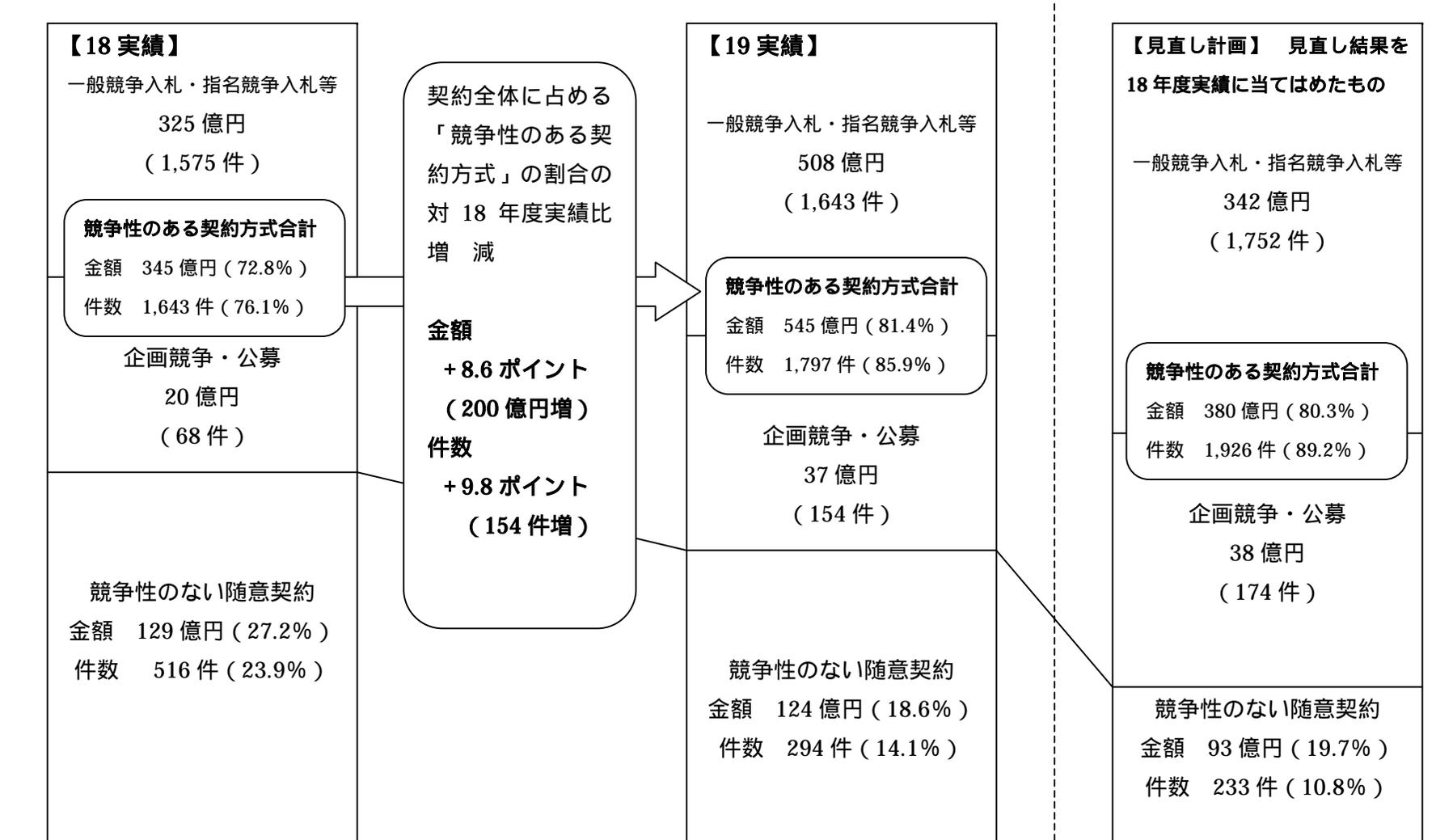
(単位：件、億円)

	平成18年度		平成19年度		比較増 減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(73.0%) 1,575	(68.7%) 325	(78.6%) 1,643	(75.9%) 508	(4.3%) 68	(56.3%) 183	(81.1%) 1,752	(72.2%) 342
企画競争・公募	(3.1%) 68	(4.2%) 20	(7.4%) 154	(5.6%) 37	(126.5%) 86	(85.0%) 17	(8.1%) 174	(8.1%) 38
競争性のある契約(小計)	(76.1%) 1,643	(72.8%) 345	(85.9%) 1,797	(81.4%) 545	(9.4%) 154	(58.0%) 200	(89.2%) 1,926	(80.3%) 380
競争性のない随意契約	(23.9%) 516	(27.2%) 129	(14.1%) 294	(18.6%) 124	(43.0%) 222	(3.9%) 5	(10.8%) 233	(19.7%) 93
合計	(100%) 2,159	(100%) 473	(100%) 2,091	(100%) 669	(3.1%) 68	(41.4%) 196	(100%) 2,159	(100%) 473

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増 減の( )書きは、平成19年度の対前年度伸率である。

(参考) 図表 随意契約見直し計画と平成 19 年度に締結した契約の状況



(注) 不落・不調の随意契約について、18 年度は「競争性のない随意契約」に、19 年度は「競争入札等」に整理している。

2. 平成 19 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約  
一般競争入札へ移行

(ア) 電気設備のうち、特殊な装置の点検・整備 5 億円

(イ) 機械設備のうち、特殊な装置の点検・整備 0.6 億円

指名競争入札へ移行

該当無し

企画競争へ移行

(ア) 公募手続の結果 2 者以上の参加意志が確認された業務 0.2 億円

公募へ移行

(ア) 主に公益法人が有する技術・設備を確保して実施する必要がある業務 1.6 億円

3. (参考) 契約形態別応札者数 (平成 19 年度)

契約形態 応札者数	一般競争入札		指名競争入札		企画競争		公募	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2 者以上	217	37.7	967	100%	70	100%	0	0%
1 者以下	359	62.3%	0	0%	0	0%	84	100%
合計	576	100%	967	100%	70	100%	84	100%